

ビジターセンター行事「赤とんぼ観察会」

1 日時：令和3年10月24日（日）午後1時30分～3時30分

2 参加人数：17人

3 講師：太田充氏 補助：保崎有香氏

4 講座の内容

(1) 開会の挨拶（内野）

9月には緊急事態宣言が発令され9月4日に予定されていた「アメリカザリガニ勉強会」は延期になり、11日に予定されていた「秋の鳴く虫観察会」は中止になりました。10月になり緊急事態宣言が解除となり今回の「アカトンボ観察会」を開催できますことをうれしく思います。

しかし、アカトンボですが、10月上旬は例年より気温が高かったのが原因なのか、たくさん見られませんでした。気温がさがり増えるのを期待していましたが、中旬になると今度は気温が急激に下がってしまったのが原因なのか、数が減りました。

今日は、気温が例年並みになりました。午前中自然塾を開催しましたが、10数頭見ることができましたので、午後のセンター行事でも観察できるといいですね。

(2) 講話（太田）

① 桶ヶ谷沼の代表的なトンボベッコウトンボについて

ベッコウトンボは春のトンボであり現在は見られない。GWごろに多く見られる。

近年数が減少しているため、その対策として、アメリカザリガニの駆除、他のトンボや天敵が入らないよう網をかけたコンテナの設置、沼の北側での生け簀などの対策をして種の保存を進めるとともに、頭数の増加をめざしている。

② アカトンボについて

9種類のトンボの写真を提示し、この中でアカトンボにあたるトンボは何種類か参加者に質問した。アカトンボは正式にはアカネ属に属するトンボをさすため、「ウスバキトンボ」や「ショウジョウトンボ」のように赤色をしているもののアカトンボではないトンボがいたり、また、逆にナニワトンボのように赤色ではなく青色をしているトンボもいたりしたため、正解は6種類であった。参加者は質問と解説によりアカトンボに関する認識を深めることができた。

日本では「アキアカネ」「ナツアカネ」「ノシメトンボ」「コノシメトンボ」「マイコアカネ」「マユタテアカネ」など21種類のアカトンボが確認されており、それぞれの名前の由来や特長についての解説は興味深い内容であった。

③ 代表的なアカトンボアキアカネについて

アキアカネは6月頃平地で羽化し、その後標高1000mぐらいの高さの山に向かって移動し、夏の間涼しいところで過ごし成長する。その間にオスの体色は赤色が濃くなっていく。涼しくなる10月頃平地に戻り、私たちは見るようになる。

(3) 沼での観察（太田 保崎）

① アカトンボの観察

捕獲用の網で木の枝などにとまっていたアカトンボを捕獲して、観察用に空気穴をあけたビニール袋に入れ、特長を観察した。捕獲できたアカトンボは「アキアカネ」「ナツアカネ」「マユタテアカネ」の3種類であった。観察後は逃がした。

赤トンボを観察した場所は、沼の南の道沿いの桜の木、木道の竹竿、甕塚に生えている植物などであった。

② 甕塚のコンテナ内のヤゴの観察

甕塚に設置してあるコンテナの中を網ですくい、コンテナ内で成長しているヤゴをバットに入れ、観察した。見つけることができたヤゴは、クロスジギンヤンマ、ショウジョウトンボ、チョウトンボ、シオカラトンボ、ハネビロトンボのヤゴで、参加者はそれぞれの特長の違いを観察することができた。

(4) アカトンボマップ作り

桶ヶ谷沼の地図の各々の地点で発見することができた種類のアカトンボのシールを貼り、アカトンボマップを作成した。



講師 太田充 氏



ベッコウトンボの説明
ベッコウトンボは絶滅危惧種です



Q: 9種類のトンボのうち、アカトンボは何種類でしょう
A: 6種類です。赤くてもアカトンボではないトンボ
赤くなくてもアカトンボの仲間もいます



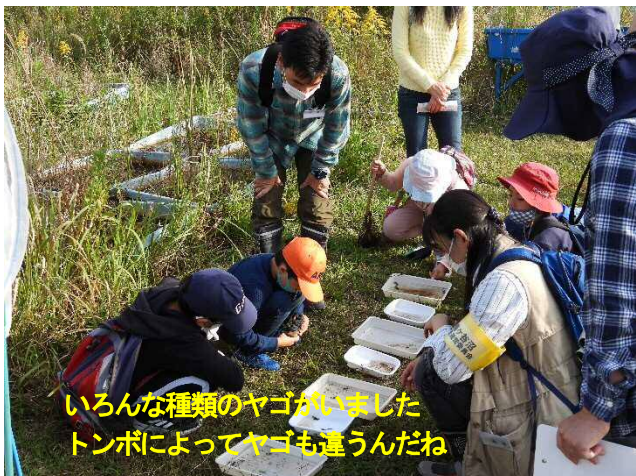
講師の説明を熱心に視聴する参加者たち



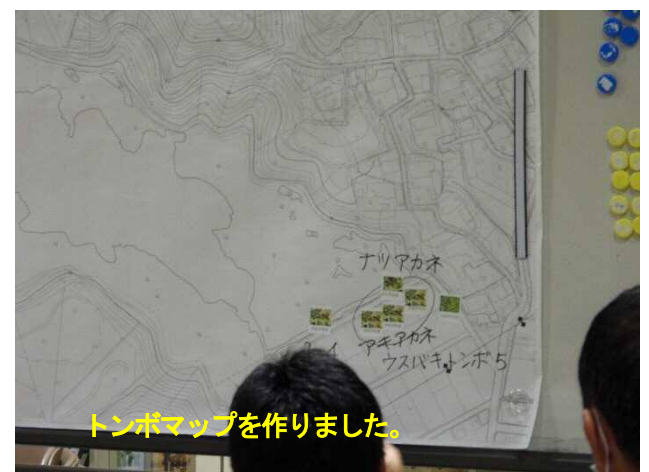
アキアカネを捕まえました。
特徴をよく見てください。



コンテナの中のヤゴを捕まえよう



いろんな種類のヤゴがいました
トンボによってヤゴも違うんだね



トンボマップを作りました。